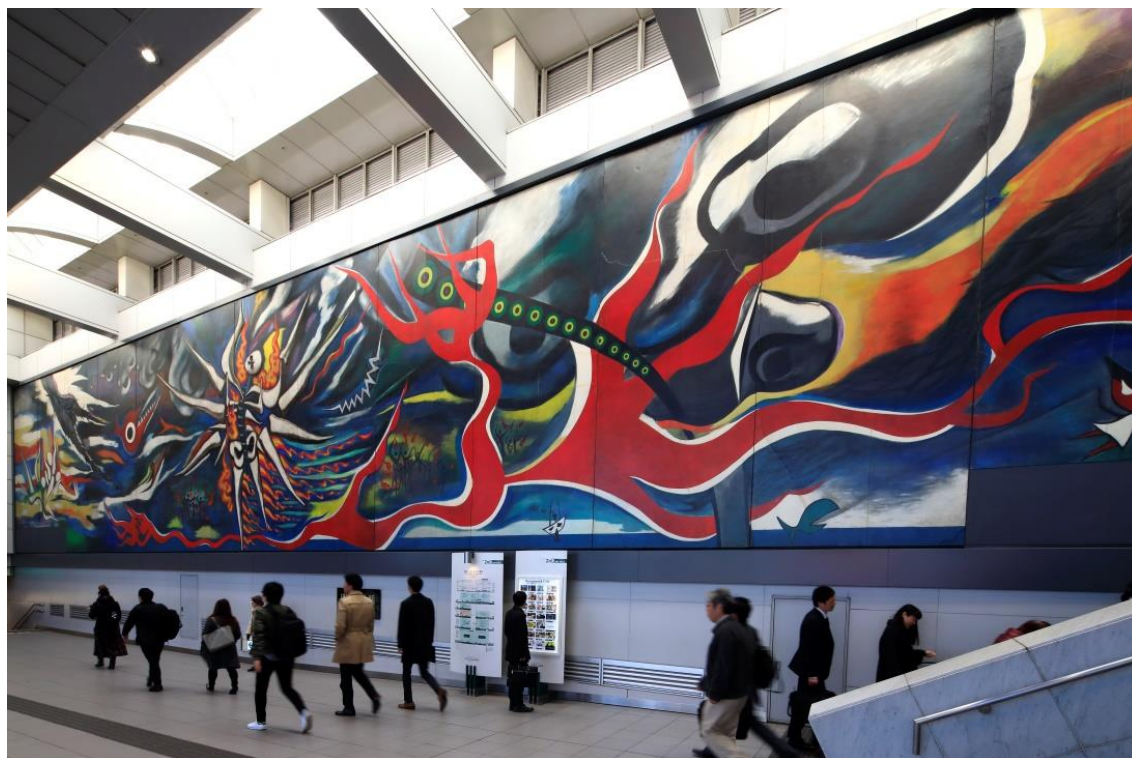


太陽の塔リニューアル記念

街の中の岡本太郎 パブリックアートの世界

2018年7月14日(土) - 9月24日(月)



岡本太郎《明日の神話》1968年制作/2008年設置 東京・渋谷

展覧会趣旨

岡本太郎が多面的な活動の中で、公園や学校などパブリックな空間に創作した作品は、全国に70カ所140点以上に及びます。岡本は、作品が個人の所有物となることを拒みつづけ、誰でもいつでも見ることの出来るパブリックな空間に作品を創り続けました。そこには「芸術のための芸術」ではなく、芸術が我々の日常空間にあって社会と芸術をつなげる不可欠な存在であり、人間の根源的歓びと感動を呼び覚ますという彼の芸術理念が貫かれていました。

本展は、日本万国博覧会テーマ館《太陽の塔》のリニューアルを記念して、岡本が生涯を通じて社会に打ち出したパブリック作品を俯瞰するものです。会場にはモザイクタイルを使った初期の作品から大阪・千里の《太陽の塔》、東京・渋谷の《明日の神話》をはじめとする全国津々浦々に創られた作品を、その原型、原画、スケッチ、写真等で紹介します。場との迎合を否定し、対立することでお互いの個性を生かすという岡本の作品に込められた思いと、社会に打ち出されたメッセージを知る機会となることを願っています。



展示構成

- モザイク画と初期作品 《太陽の神話》(大和証券グループ本社)、《創生》(高島屋地下) 他
- 平面から立体へ 《日の壁》(旧東京都庁)、《若い太陽の塔》(日本モンキーパーク) 他
- 《太陽の塔》と《明日の神話》 《明日の神話》(東京・渋谷駅)、《太陽の塔》(万博記念公園) 他
- 70年以降の作品 《躍進》(JR岡山駅)、《縄文人》(藤沢町文化交流センター) 他
- 映像 1、各地にあるパブリック作品や、制作に励む岡本太郎の姿を上映します。
 2、日本工業大学学生によるVRコンテンツが体験できます。
- 資料 「太陽の塔」「マミ会館」などの巨大彫刻、建築物の図面、スケッチ、ドローイング他
- フランソワ・バシェの音響彫刻「勝原フォーン」 (7月14日～7月29日限定)

出品点数：油彩画、レリーフ、彫刻、モザイク画、ドローイング、図面、写真 計171点(予定)

関連イベント

バシェ

展覧会にあわせ、1970年の大阪万博で展示されたバシェ音響彫刻のイベントを開催します。

■高田みどり・バシェ音響彫刻コンサート

打楽器奏者 高田みどりによるバシェ音響彫刻・勝原フォーンを使ったソロ・コンサート

日 時：7月22日(日) 15:00～16:00

場 所：企画展示室

出演者：高田みどり(打楽器奏者・作曲・舞台芸術家)

料 金：観覧料のみ



バシェ音響彫刻・勝原フォーン

■永田砂知子・バシェ音響彫刻コンサート

打楽器奏者 永田砂知子によるバシェ音響彫刻・勝原フォーンを使ったソロ・コンサート

日 時：7月29日(日) 15:00～16:00

場 所：企画展示室

出演者：永田砂知子(打楽器奏者・即興演奏家)

料 金：観覧料のみ

■バシェ音響彫刻レクチャーと音響体験

東京藝術大学でバシェ音響彫刻修復の責任者を務める川崎義博が、バシェ音響彫刻の仕組みとこれまでの取組みをレクチャーします。希望者は勝原フォーンを実際に体験することができます。

日時：7月21日(土) レクチャー13:00～14:00 /音響体験 14:15～15:00

7月28日(土) レクチャー13:00～14:00 /音響体験 14:15～15:00



場所：レクチャー・ガイダンスホール/音響体験・企画展示室

講師：川崎義博(サウンドアーティスト、サウンドデザイナー)

料金：レクチャー・無料/音響体験・要観覧料

定員：レクチャー・80名/体験コーナー・25名

申し込み：音響体験を希望される方は、当日9:30～受付で整理券配布(先着順)

バシェ音響彫刻

フランスのバシェ兄弟は音の実験と研究を重ね「音響彫刻」といういままでにない響きを持つ作品を創作しました。1954年以降 MoMA など世界各地で展示され、日本には1970年の大阪万博・鉄鋼館プロデューサーだった武満徹氏に招聘され来日。10名ほどの日本人の助手と共に17点の音響彫刻を創りました。それぞれの音響彫刻には、助手をしてくれた日本人への感謝の気持ちを込めて、日本人の名前が付けられています。

バシェの音響彫刻には、同じかたちのもは世界に2つとありません。万博終了後ほとんどが解体されましたが、2013年から作品の修復プロジェクトが開始され、これまでに6基が修復されています。今回展示される「勝原フォーン」は昨年2017年に東京芸術大学バシェ音響彫刻修復プロジェクトにより修復されたものです。

ワークショップ

■甦れ!!バーチャルリアリティ 太陽の塔

日本工業大学の学生によるVRコンテンツの体験ワークショップ。1970年万国博当時の「太陽の塔」と内部の「生命の樹」をVRで体験することができます。

日時：8月11日(土)～8月19日(日)(8月13日(月)を除く) 11:00～16:30

場所：企画展示室

料金：観覧料のみ

■モザイクアートを作ろう!

太郎の様々な作品で用いられている「モザイクアート」をコースター作りで体験します。オリジナリティー溢れる作品を作ります。

日時：8月11日(土)、12日(日) 10:00～16:00まで

料金：1枚300円

定員：1日50名まで誰でも参加できます

場所：美術館ギャラリースペース

■町の人気者 岡本太郎パブリックアートめぐり

町中の岡本太郎作品を学芸員と一緒にめぐるバスツアー。

日時：9月10日(月)、11日(火)

9月10日：12:30 岡本太郎記念館集合→旧こどもの城→NHKスタジオパーク→16:00 渋谷駅・現地解散

9月11日：9:00 渋谷エクセルホテル東急集合→川崎市とどろきアリーナ→ミュージアム川崎シンフォニー



ホール→昼食→岡本太郎美術館→新横浜解散

定員：20名、最少催行人員：8名

料金：9月10日(月)8000円、9月11日(火)13000円、2日間セット 20000円

申込：朝日旅行東京支店 03-6858-9811

問い合わせ：申し込み資料請求は朝日旅行まで。

■ギャラリートーク

担当学芸員が会場をめぐり岡本太郎のパブリックアートについて解説します。

日時：8月25日(土)、9月16日(日)、9月24日(月) いずれも14:00~14:45

会場：企画展示室

料金：観覧料のみ

開催概要

街の中の岡本太郎 パブリックアートの世界

会期：2018年7月14日(土)~9月24日(月)

休館日：月曜日(7月16日、9月17日、9月24日を除く)、7月17日、9月18日

時間：9:30~17:00(入館は16:30まで)

会場：川崎市岡本太郎美術館 企画展示室

主催：川崎市岡本太郎美術館

協力：岡本太郎記念館、株式会社大和証券グループ本社、高島屋史料館、
日本工業大学先進工学部情報メディア工学科、
東京藝術大学バシエ音響彫刻修復プロジェクト、バシエ協会、有限会社デジアート

観覧料：一般900(720)円、高・大学生・65歳以上700(560)円、中学生以下は無料

※()内は20名以上の団体料金

※常設展もあわせてご覧いただけます。

同時開催：常設展「岡本太郎とからだ」

2018年7月5日(木)~9月24日(月)

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館

〒214-0032 川崎市多摩区枡形 7-1-5 TEL：044-900-9898 FAX：044-900-9966

展覧会担当：大杉 広報担当：佐藤(pr@taromuseum.jp)

太陽の塔リニューアル記念

街の中の岡本太郎

パブリックアートの世界

No.1



《太陽の塔》1970年 大阪・吹田

No.2



《明日の神話》1968年制作/2008年設置 東京・渋谷

No.3



《であい》1994年 三重・伊勢

No.4



《こどもの樹》1985年 東京・渋谷

No.5



《メリーポール》1962年 東京・池袋 現存せず

No.6



《若い太陽の塔》1969年 愛知・犬山

No.7



《足あと広場》1978年 広島・福山